

おにぎり通信

2010年9月4日（土曜） 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、四ツ谷周辺と銀座・日比谷公園、東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

8月23日は二十四節気の「処暑」でした。日中の厳しい暑さがやわらぎ、朝晩は涼しくなるころという意味です。たしかに虫の音を耳にするようにはなりましたが、それから2週間がたつというのに、いっこうに猛暑が収まる気配がありません。今年の猛暑は日中もそうですが、夜間も朝も暑いのが、なによりこたえます。今年は8月23日までの熱帯夜日数が40日。昨年は20日間だったそうですから、すでに昨年の2倍です。連日の猛暑で体には疲れがたまっているでしょうから、睡眠だけはしっかりとるようにと言いたいところなのですが……。



ちなみにこれまでの年間熱帯夜日数の第一位は1994年の47日だそうです。もしかすると、今年はありがたくない記録更新となるかもしれません。

☆ 福祉行動報告 8/23

Aさん（69歳）下血が止まらないとのことで、痔の治療を希望され、病院に向かわれました。

次回の福祉行動：9月6日（月）、東京駅丸の内北口タクシー乗り場前に、朝

8時半までに集合です。

病気やケガの治療を希望される方や、体を休めたい方と一緒に福祉事務所まで、ボランティアが同行いたします。福祉行動は原則として毎週月曜日に行います。福祉行動は参加されるそれぞれの方が、ご自身の希望をご自身の言葉でハッキリと福祉事務所に伝えることにより成り立ちます。

もより ぶくしじむしょ
最寄の福祉事務所

ちゅうおうくふくしじむしょ
中央区福祉事務所

ちゅうおうくつきじ
中央区築地 1-1-1

ちゅうおうくやくしよ かい
中央区役所 4階

ちよだくふくしじむしょ
千代田区福祉事務所

ちよだくくだんみなみ
千代田区九段南 1-2-1

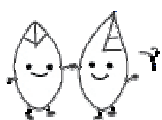
ちよだくやくしよ かい
千代田区役所 3階

「^{ひんこん}貧困」→「^{ひんこん}貧魂」→「^{たましいいたみ}魂の痛み」ということを考えさせる「^{ろうじん}老人と^{ほと}鳩」という詩があります。^し公園の^{こうえん}鳩が^{ほと}毎日^{まいにち}決まってやって来る^く老人の^{ろうじん}ことを^{かた}語っています。

「^{うち}ちは ^{もう}もう ^{ここ}ここに ^{なんねん}なんねんも ^{いてんねん}いてんねんけど ^{ひる}ひるの ^{いちじご}いちじごろになると ^{かならず}かならずくる ^{おじいちゃん}おじいちゃんを ^ままてねんよ ^とというの ^はは ^{ちょう}ちょうど ^{おなか}おなか ^がが ^すすいた ^{ところ}ところになつたら ^{とし}と ^のの ^いいた ^{おじいちゃん}おじいちゃんが ^{しょくぱん}しょくぱんのはしを ^{どこ}どこか ^でで ^もも ^ろろて ^くくん ^{ねん}ねん ^やや ^{ろう}ろう ^ななあ ^{うち}ち ^ららが ^わわ ^ああ ^にに ^なな ^っつて ^とと ^ここ ^へへ ^ききて ^{その}その ^{ぎょう}ぎょう ^{さん}さんの ^{しょく}しょく ^{ぱん}ぱん ^のの ^はは ^しし ^をを ^{ちぎ}ちぎ ^っつて ^{ちぎ}ちぎ ^っつて ^{うち}ち ^らら ^にに ^ああ ^たた ^ええて ^くくれる ^んん ^よよ ^{うち}ち ^らら ^みみな ^{かん}かん ^かか ^んん ^にに ^なな ^っつて ^{その}その ^{しょく}しょく ^{ぱん}ぱん ^のの ^はは ^しし ^をを ^たた ^べべる ^んん ^やや ^でで ^そそ ^ししたら ^おお ^じじ ^いい ^ちち ^ゃゃ ^んん ^ううれ ^しし ^そそう ^ななか ^おお ^しして ^{うち}ち ^らら ^をを ^みみて ^るる ^んん ^やや

うち ^{おも}おも ^うう ^{ねん}ねん ^けけど ^{この}この ^おお ^じじ ^いい ^ちち ^ゃゃ ^んん ^ここそ ^{うち}ち ^らら ^いい ^じじ ^{ょう}ょう ^にに ^おお ^ななか ^かか ^すす ^いいて ^るる ^はは ^ずず ^やや ^のの ^にに ^きき ^っつ ^とと ^しし ^ごご ^とと ^もも ^のの ^うう ^てて ^おお ^かか ^ねね ^もも ^なない ^しし ^{この}この ^もも ^ろろ ^てて ^{きた}きた ^{しょく}しょく ^{ぱん}ぱん ^のの ^はは ^しし ^おお ^じじ ^いい ^ちち ^ゃゃ ^んん ^ここそ ^たた ^べべ ^たた ^らら ^ええ ^のの ^にに ^いい ^{うち}ち ^らら ^にに ^ばば ^っつ ^かかり ^ばば ^らら ^まま ^いいて ^かか ^らら ^にに ^いい ^にに ^んん ^げげ ^んん ^でで ^もも ^ここ ^んん ^なな ^ええ ^ええ ^ひひと ^いいて ^るる ^んん ^やや ^ななあ ^おお ^じじ ^いい ^ちち ^ゃゃ ^んん ^おお ^おお ^ききに ^おお ^おお ^ききに ^いい ^たた ^だだ ^ききます」

この詩の作者の^し東淵修^{さくしや ひがしぶちおさむ}さんは^お大阪^{おおさか}市^し西成区^{にしなりく}の^ああい^りん^ち地区^{ちく}（^か釜^かヶ^さ崎^{さき}）^すに住みつけ、この^ち地区^{ちく}で^く暮らす^ひ人々^{ひとびと}の^あ哀^{あいかん}歎^{ひょうげん}を^し表現^ししてきた^し詩人^{しじん}です。2008年^{ねん}2月^{がつ}に77歳^{さい}で^な亡くなりました。この詩の^し光景^{こうけい}を^み見ている^じ自分^{じぶん}を^{そう}想像^{ぞう}すると、「^ここ^ろが^まず^しい^のは^だれ^なの^か!?」と^じ自問^{もん}した^くた^くなり^ます。



おにぎりを^{つつ}包んでいる^よラップ^おや^{つうしん}読み終わった^{ほうち}通信は^お放置^{ほうち}せずに、^ごゴミ^{ばこ}箱^いに入れる^かなど^かして^か片付け^{かたづ}にご^き協力^{きょうりょく}を^ねお願い^{ねが}いたします。おにぎりは^ひかならず^ひその^め日の^あうち^あにお^く召^だし^た上がり^た下さい。

四ツ谷おにぎり仲間 ^{れんらく}連絡先^{さき} : 090-4959-0652 ^{いわた}岩田